



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年7月29日

上場会社名 日糧製パン株式会社 上場取引所 札
 コード番号 2218 URL <http://www.nichiryu-pan.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 吉田 勝彦
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 北川 由香里 (TEL) 011-851-8188
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年3月期第1四半期の業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(百万円未満切捨て)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,273	3.6	91	45.9	97	52.5	54	147.4
26年3月期第1四半期	4,127	△2.4	62	68.4	64	92.2	22	△19.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	2.62	—
26年3月期第1四半期	1.06	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	12,444	3,549	28.5
26年3月期	12,057	3,475	28.8

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,549百万円 26年3月期 3,475百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,500	0.0	170	6.6	160	2.1	90	11.2	4.29
通期	17,100	0.1	280	3.8	270	3.0	130	7.9	6.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	21,039,480株	26年3月期	21,039,480株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	75,638株	26年3月期	75,588株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	20,963,842株	26年3月期1Q	20,964,998株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(2) 追加情報	P. 3
3. 四半期財務諸表	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成26年4月1日～平成26年6月30日)におけるわが国経済は、各種政策の効果により、企業収益や雇用環境の改善が見られ、景気は緩やかな回復基調が続きましたが、個人消費は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、弱めの動きとなりました。当業界におきましては、消費者の日常の食料品に対する節約志向が続く中、販売競争の激化に加え、原材料価格の高止まりやエネルギーコストの上昇により、厳しい収益環境となりました。

このような情勢下におきまして、当社は「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、品質向上の追求と、市場動向やお客様のニーズに即した新製品開発に注力し、取扱の拡大ならびに主力製品の拡販に努めました。また、原材料費や燃料費の上昇を吸収すべく経営効率化の努力を続けてまいりました。

製品別の売上状況につきましては、食パン部門は、しっとりやわらかな食感を継続して訴求し、取扱拡大をはかった「絹艶」が好調に推移し、また「デニッシュローフ」や「ムー・ブラン」などバラエティ食パンの積極的なリニューアルやシリーズ化により、前年同期を上回りました。菓子パン部門は、平成26年3月に発売したしっとりとした白い生地が特徴の「しっとりマルシェ」シリーズがお客様のご好評を得たことや、「北の国のベーカリー」シリーズが好調に推移したことにより回復傾向となりましたが、ドーナツ類が伸び悩み、前年同期をやや下回りました。和菓子部門は、品質向上による串団子の取扱拡大、ロングライフ製品および季節商品の拡充をはかりましたが、蒸しパン類の伸び悩みにより前年同期を下回りました。洋菓子部門は、「厚焼きパンケーキ」の拡販によるスナックケーキ類の回復と「魅惑のチョコブリッコ」などのチルド製品の伸長により、売上は堅調に推移しました。調理パン・米飯部門は、量販店向けの米飯が引き続き伸長しました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績につきましては、売上高は4,273百万円(対前年同期比103.6%)、営業利益は91百万円(対前年同期比145.9%)、経常利益は97百万円(対前年同期比152.5%)、四半期純利益は54百万円(対前年同期比247.4%)となりました。品質訴求による製品提案および販売の強化、ならびに効果的な販売促進の実施に加えて、各部門における業務の見直しなど全社的なコスト低減により増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産合計は12,444百万円で前事業年度末に対し、386百万円増加いたしました。流動資産は4,243百万円で主に現金及び預金が333百万円、商品及び製品が108百万円増加し、売掛金が38百万円減少した結果、前事業年度末に対し380百万円増加いたしました。固定資産は8,200百万円で前事業年度末に対し5百万円の増加となりました。負債合計は8,894百万円で、借入金の増加等により前事業年度末に対し312百万円増加いたしました。純資産合計は3,549百万円で前事業年度末に対し74百万円増加いたしました。利益剰余金が54百万円、その他有価証券評価差額金が19百万円増加したことによるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における自己資本比率は28.5%、1株当たりの純資産は169円33銭となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、政府の経済政策の効果により景気は緩やかな回復が続くことが期待されるものの、消費税や光熱費等の家計負担の増加による消費マインドの悪化も懸念され、景気の先行きは予断を許しません。当業界におきましても、消費者の日常的な支出に対する節約志向と販売競争の激化が継続し、また原材料価格の高止まりや燃料費や電力費の上昇により、収益が圧迫される厳しい経営環境が継続することが予測されます。

このような情勢下におきまして、当社は、「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、引き続き製品の品質向上をはかり、安全・安心でお客様に認められる価値の高い製品開発に努め、生産・販売一体となった製品施策・営業戦略の展開により新しい需要の創造に取り組むとともに、一層の業務効率化を推進して収益向上に努めてまいります。

なお、平成27年3月期第2四半期累計期間および平成27年3月期通期に関する業績予想につきましては、平成26年5月13日に公表した内容から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更し、並びに割引率を変更いたしました。

この結果、当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ4,421千円減少しております。

(2) 追加情報

表示方法の変更

(四半期損益計算書)

前第1四半期累計期間において区分掲記しておりました「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」は、当第1四半期累計期間より「法人税等」に一括掲記することといたしました。これに伴い、前第1四半期累計期間の財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,606,616	1,939,671
受取手形及び売掛金	1,885,947	1,847,716
商品及び製品	41,912	150,314
仕掛品	31,770	41,842
原材料及び貯蔵品	125,019	128,299
繰延税金資産	77,912	46,266
その他	94,795	90,405
貸倒引当金	△977	△763
流動資産合計	3,862,997	4,243,752
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,379,433	1,378,478
機械及び装置(純額)	1,299,688	1,286,702
土地	4,662,405	4,662,405
その他(純額)	169,543	178,816
有形固定資産合計	7,511,071	7,506,403
無形固定資産		
その他	72,690	65,644
無形固定資産合計	72,690	65,644
投資その他の資産		
投資有価証券	417,900	444,878
投資不動産(純額)	87,907	87,907
繰延税金資産	49,868	42,688
その他	60,897	58,605
貸倒引当金	△5,664	△5,662
投資その他の資産合計	610,910	628,418
固定資産合計	8,194,671	8,200,466
資産合計	12,057,669	12,444,219

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,004,958	2,123,297
短期借入金	1,150,000	1,250,000
1年内返済予定の長期借入金	536,992	489,020
未払法人税等	84,717	10,965
賞与引当金	181,626	108,612
その他	865,500	947,196
流動負債合計	4,823,794	4,929,091
固定負債		
長期借入金	887,108	1,084,580
再評価に係る繰延税金負債	1,383,202	1,383,202
退職給付引当金	1,452,506	1,462,029
役員退職慰労引当金	34,210	31,221
その他	1,300	4,300
固定負債合計	3,758,326	3,965,332
負債合計	8,582,120	8,894,424
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,974	1,051,974
利益剰余金	△172,153	△117,287
自己株式	△8,689	△8,695
株主資本合計	871,130	925,990
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	102,699	122,086
土地再評価差額金	2,501,718	2,501,718
評価・換算差額等合計	2,604,417	2,623,804
純資産合計	3,475,548	3,549,795
負債純資産合計	12,057,669	12,444,219

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	4,127,248	4,273,824
売上原価	2,933,518	3,012,277
売上総利益	1,193,729	1,261,547
販売費及び一般管理費		
販売費	949,431	977,158
一般管理費	181,375	192,587
販売費及び一般管理費合計	1,130,806	1,169,745
営業利益	62,922	91,801
営業外収益		
受取利息	1	-
受取配当金	4,084	4,914
受取賃貸料	1,661	4,989
受取保険金	3,238	3,281
その他	2,171	1,955
営業外収益合計	11,157	15,140
営業外費用		
支払利息	10,005	8,785
その他	0	462
営業外費用合計	10,005	9,247
経常利益	64,074	97,694
特別損失		
固定資産売却損	-	52
固定資産除却損	3,205	2,902
役員退職慰労金	2,304	902
特別損失合計	5,509	3,857
税引前四半期純利益	58,565	93,837
法人税等	36,383	38,971
四半期純利益	22,181	54,866

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、食品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。